

保険クリニックで「Findme」提供

全224店舗テスト展開

アイリックコーポレーション、リーズンホワイ

アイリックコーポレーションとがん専門オンラインセカンドオピニオンサービス「Findme（ファインドミー）」を提供するリーズンホワイは、5月から9月末まで保険クリニック全224店舗で「Findme」のテスト展開を開始した。全店舗で対面によってサービスを案内することで、同サービスの認知度向上に加え、セカンドオピニオンの周知を図る考えだ。アイリックコーポレーションでは、保険にとどまらず、人生100年時代をサポートするヘルスケアサービスを提供し、さらなる顧客満足度向上を目指す。

保険の提案時の情報提供の他、顧客の往来が多い商業施設の店舗では、店頭のパネル設置などで、周知の機会を増やしていく。リーズンホワイの塩飽哲生社長は「9月末までに提供数100件」を掲げる。

不安や悩み寄り添い医師マッチング

セカンドオピニオンは、がん患者の移動時間や診断から治療開始までが約2週間という時間的



塩飽社長

な制限などで「実際には利用しづらい」という声が寄せられている。「Findme」は、セカンドオピニオンが低いと、保険クリニック全店舗での対面による提供や案内によって理解度を深め、同サービスの良さをより多くの人に周知させるとともに必要性を伝えていく。

また、一般的にセカンドオピニオンは、認知度が低いため、保険クリニック全店舗での対面による提供や案内によって理解度を深め、同サービスの良さをより多くの人に周知させるとともに必要性を伝えていく。

同サービスは、いくつかの保険会社のがん保険の付帯サービスとして採用されておりその場合の利用料は無料だが、保険クリニックを介することから割引引かれる。アイリックコーポレーションは、サービスの展開を通じてリーズンホワイと顧客をつなぐ役割を担っている。

セカンドオピニオンの利用に関する厚生労働省のデータでは、年間約100万人のがん罹患（りかん）者の中で、「実際にセカンドオピニオンを利用した人」は、約3割となっている。その理由として担当医に言いにくいことが挙げられる。



Findme事業部の井出氏、柳澤氏(右)

「患者の心のハードルを下げるサービスを進めている。」

同サービスは、患者が抱える悩みや不安に対して的確に回答することに

加えて、その悩みに適した専門性の高い医師をマッチングする。リーズンホワイFindme事業部リーダーの柳澤史乃氏は、「保険クリニックとの連携で、さらに顧客満足度を向上させていきたい」と語る。

塩飽社長は、保険を販売する人たちが「Findme」を付帯している保険商品の価値を上げることでセカンドオピニオンの一層の周知につながるとした上で、「業界全体で、セカンドオピニオンの重要性を顧客に伝えていきたい」と意欲を示す。

テスト期間の終了後に、全店舗でのサービス提供は継続する予定としており、多くの保険会社と同サービスを認識してもらうことに加えて、異業種との展開も視野に入れながら、多くの顧客への周知を目指していく。